



11月 フルーツミックス



朝、夕の気温が低くなり、日中は過ごしやすく秋の深まりを感じる季節になりました。

毎日の生活・遊びを通して生活に見通しを持ち“自分でしたい気持ち”や“自分でできた”と自信をもち、さまざまな意欲につながっています。今回は、子どもたちの生活の様子をお知らせします。



さくらんぼぐみ

水道で手洗いをしたり、食後は口や手を丁寧にタオルで拭いてもらうことを繰り返すことで、手を前に出してタオルで手を拭いてもらうとする姿が見られます。
排泄面では、おむつがはずれるようにタイミングに合わせてトイレに座ったり、布パンツで過ごしたり、1人ひとりに合わせて進めています。



じぶんでかめるよ



そでを
めくれるよ



りんごぐみ

戸外から帰ってきたら帽子と靴下を自分の引き出しに入れて着替えをするなど、保育者が声をかけなくてもできることが増えてきました。
トイレでは、パンツを下げて便器に座り、立ってパンツをあげることができたり、トイレットペーパーの使い方も繰り返し伝えることで必要量がわかり、使えるようになってきました。



いちごぐみ

手洗いの後、濡れた手をタオルで丁寧に拭くことや鼻のかみ方を知らせながら繰り返し行うことで、身につけられるようになっていきます。
乳児期の積み重ねが幼児期の習慣となるので繰り返し正しいやり方を伝え、練習し身につけていきたいです。



～排泄の自立に向けて～

○おむつはずし(トイレトレーニング)の始める目安は？

- ①ひとりで歩くことができる
- ②大人の話す言葉が理解できる
- ③おしっこの間隔が1時間から2時間くらいあく

○子どもの排泄のサインをとらえましょう！

おしっこやウンチが出る直前にサインを出すようになります。じっと止まって動かなくなる、場所を移動する、マタを押さえるなど、その子によっていろいろなサインがあることを認識してトイレへ誘うようにします。トイレで排泄することが気持ちいいことを知らせていくことが大切です。

「ふーん」
できるよ

